

## 腹腔鏡下肝切除

当院は、腹腔鏡下肝切除を安全に施行できる施設として、厚生労働省が定めた施設基準認定施設に2011年に県内で初めて認定されました。痛みが少なく美容性も兼ね備えた手術であり、安全性を最重視しつつ、可能な患者さんに適応しております。多くの場合、術後1週間前後で退院可能となっております。肝切除を受けられる患者さんのうち、2-3割の患者さんが対象となっており、現在まで100人以上の患者さんに重大な合併症を起こすことなく施行してきております。大切なことは、開腹手術と腹腔鏡手術を適切に使い分けることであり、開腹肝切除と腹腔鏡下肝切除の両者に習熟した肝臓外科医が手術を担当しております。当院の腹腔鏡下肝切除手術手技は2013年の日本内視鏡外科学会のパネルディスカッションでも取り上げられ、安全な手術法として評価を受けております。健康保険が適応されており、**通常の手術とほぼ同等の患者負担で腹腔鏡下肝切除を行うことができます。**多くの経験を有する日本肝胆膵外科学会高度技能指導医が主に手術を担当しており、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設のA施設に認定されています。常に最新の手術機器を導入して安全に手術を行っております。特にラジオ波治療が困難な肝がん患者さんにとっては、身体への負担が少ない根治療法として非常に有用な方法です。

従来の開腹手術と腹腔鏡下手術の傷の写真の例を下に示します

### 開腹手術



## 腹腔鏡手術



### 【最近の当院外科からの学会報告例の一部】

日本内視鏡外科学会(2013年11月、福岡)でのパネルディスカッション:「完全腹腔鏡下肝切除における Biclamp crushing technique の有用性」、高 濟峯、他

日本肝胆膵外科学会(2015年6月東京):シンポジウム「A limited role of laparoscopic procedure in resection for perihilar cholangiocarcinoma」

Ko S, et al.

日本内視鏡外科学会(2015年12月、大阪)でのワークショップ:「腹腔鏡下肝切除における各種病態への対応策」、高 濟峯、他